

施策	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興						
分野	02 多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち						
施策担当課	産業振興センター	関係課					

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢の変化に応じた中小企業・創業支援や商店街支援等の取組により、地域経済が活性化されています。 ○一人ひとりの状況に即した就労支援が行われ、誰もが多様な働き方を実現しています。 ○「杉並」の魅力や価値が更に高まり、その魅力や価値が区内外に発信され、にぎわいの創出につながっています。 ○農業者への支援のほか、区民の農業への理解促進や地産地消の推進、農福連携事業などの取組により、都市農地が持つ多面的な機能が発揮され、農地が保全されています。 					

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	融資あっせん件数		件	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	令和12年度 180件
	就労準備相談・心としごとの相談件数			実績	852	710	731	-	
	達成率			達成率	85.2%	71.0%	73.1%	-	
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数		件	計画	2,150	2,150	2,150	2,150	
	実績			実績	1,294	1,714	1,575	-	
	達成率			達成率	60.2%	79.7%	73.3%	-	
	農家戸数	農地台帳上の区内農家戸数	戸	計画	110	110	100	100	
	実績			実績	56	75	86	-	
	達成率			達成率	50.9%	68.2%	86.0%	-	
成果指標	創業支援による創業者数	区が実施する特定創業支援等事業を利用し、区内で創業した事業者数	件	計画	125	121	119	119	令和12年度 180件
	分類 行政サービス成果指標			実績	121	119	119	-	
	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数			達成率	96.8%	98.3%	100.0%	-	
	分類 行政サービス成果指標	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数	人	計画	130	130	180	180	令和12年度 850人
	商店街のイベントに参加したことのある区民の割合			実績	162	219	204	-	
	分類 利用者満足度指標			達成率	124.6%	168.5%	113.3%	-	
	アニメーションミュージアム来館者数	区民意向調査による	%	計画	43	44	45	46	令和12年度 51%
	分類 行政サービス成果指標			実績	33.7	35	39.3	-	
	区内農業産出額（農地面積1ha当たり）			達成率	78.4%	79.5%	87.3%	-	
	分類 社会成果（課題）指標	区内農業産出額÷区内農地面積	百万円	計画	28,000	45,000	50,000	55,000	令和12年度 80,000人
	分類 行政サービス成果指標			実績	39,124	57,291	49,342	-	
	区内農業産出額（農地面積1ha当たり）			達成率	139.7%	127.3%	98.7%	-	
	分類 社会成果（課題）指標			計画			7.5	7.6	令和12年度 7.7百万円
	分類 行政サービス成果指標			実績			7.7	-	
	区内農業産出額（農地面積1ha当たり）			達成率	-	-	102.7%	-	

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	1,438,440	1,266,133	1,223,897	3,053,270	1,225,152	1,285,263	
		実績額	1,240,556	1,015,554	982,675	1,643,304	1,104,605	-	
		執行率	86.2%	80.2%	80.3%	53.8%	90.2%	-	
人件費	千円	予算額	206,932	243,462	228,001	233,912	230,389	256,154	
		実績額	274,169	244,887	249,092	259,545	260,207	-	
		執行率	132.5%	100.6%	109.3%	111.0%	112.9%	-	
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	1,645,372	1,509,595	1,451,898	3,287,182	1,455,541	1,541,417	
		実績額	1,514,725	1,260,441	1,231,767	1,902,849	1,364,812	-	
		執行率	92.1%	83.5%	84.8%	57.9%	93.8%	-	
国・都からの補助金等	千円	予算額	50,422	109,129	153,207	183,467	185,089	182,566	
		実績額	526,803	228,000	233,228	667,096	154,998	-	
		執行率	1044.8%	208.9%	152.2%	363.6%	83.7%	-	
総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-8.3%	-3.8%	126.4%	-55.7%	5.9%	
		実績額		-16.8%	-2.3%	54.5%	-28.3%	-	
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	12.6%	16.1%	15.7%	7.1%	15.8%	16.6%	
		実績額	18.1%	19.4%	20.2%	13.6%	19.1%	-	

事業費の年度推移

特記事項									
中小企業支援事業では、原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し、区の中小企業資金融資のあっせん制度の融資を受けている事業者を対象として、借換特例資金融資を実施しましたが、申請件数が想定より少なかったため利子補給にかかる予算に執行残が生じました。									
商店街支援事業では、商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（活性化事業）が計画の77.0%にとどまったことや、未来を創る商店街支援事業の一部事業を見送ったこと等により、執行残が生じました。									
農業の支援・育成事業では、農業体験農園の新規開園や防災兼用農業戸などの申請がなかったため執行残が生じました。									

施策の成果	<p>中小企業支援では、原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し借換特例資金融資を実施し、返済の負担軽減を図りました。また、創業スタートアップ助成は、より多くの事業者が利用できるよう申請条件を見直した結果、令和5年度に比べて申請数の増加につながりました（家賃助成申請数6件増、ホームページ作成助成申請数2件増）。就労支援センターでは、新規登録者数及び就職決定者数とともに令和5年度を上回り、多くの利用者の就労支援につながりました。さらに、同センターの「すぎJOB・すぎトレ」の専用ホームページを作成し、就労支援事業の案内やイベント情報等の周知に向けた取組を強化しました。</p> <p>商店街のにぎわいにつながるイベント事業を86件支援したほか、新たに区単独事業の「商店街トライアル事業」を実施し、同業種の個店による連携事業など計5件の補助を行いました。また、杉並アニメーションミュージアムでは、人気アニメコンテンツを活用した企画展の実施等を行いましたが、来館者数は令和5年度から7,949人減の49,342人となりました。一方、外国人来館者数が増加傾向にある中、中止していた企画展の多言語音声ガイドの更新を再開するなど外国人旅行者の更なる誘致につながる取組を実施したことで、令和5年度から856人増の6,845人となりました。</p> <p>農業では、企業的農業経営集団活動支援助成を5件行ったほか、農業者等からの意見を踏まえ農活動支援の補助対象を拡充し24件の助成を行なうなど、農業者への支援に取り組みました。また、地産地消を推進するため、区主催の即売会の開催や学校給食「地元野菜デー」を7月、12月に全区立学校において実施するとともに、杉並産農産物の学校給食への利用拡大に向けてモデル校2校を選定し、学校給食で利用する野菜の調整・配送等を試行実施しました。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂への食材提供を37団体に対し延べ300回行うとともに、新たに不登校状態にある区内生徒や認知症高齢者グループホーム利用者による活動の場として活用されました。</p>
-------	---

課題の分析	<p>中小企業資金融資あっせん事業全体の合計件数は731件で昨年度から横ばいですが、そのうち、小規模事業者を対象とした小規模企業小口資金融資の実績は428件となり、昨年度と比べて約93.4%増となりました。物価の高止まりや金利の上昇、人材不足など、社会経済状況は今後も厳しい状況が続くことが予想されますので、小規模事業者への支援を強化していく必要があります。</p> <p>商店街のイベント事業の助成件数は順調に増え、にぎわいが回復傾向にある一方、役員の高齢化や後継者不足等に加え、物価高騰の影響を受けて、活力が低下している商店街も増加しています。今後も、各商店街が抱える課題を丁寧に聞き取り、課題解決に向けた助言を行っていく必要があります。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者は、前年度から7,949人減小しましたが、20代から50代の年齢層を対象とした企画展を実施したことにより、東京都外の遠方からの来館があるなど、広く情報発信することができました。今後も創意工夫を凝らした企画を実施するなど来館者数を増やす取組を積極的に行い、杉並の魅力や価値を高めてにぎわいを創出していくことが求められています。</p> <p>都市農業の維持・継続するために様々な施策を行っていますが、高齢化や後継者不足問題などにより農戸数及び農地面積は年々減少傾向にあり、令和7年3月31日時点の農地面積は36.2ha、農戸数は119戸となっています。引き続き、農地の保全や農業人材の確保を図るために、農業者の意向やニーズを的確に把握するとともに、都市農地貸借等の農地制度や農業ボランティアの周知及び利用勧奨を行っていく必要があります。</p>
-------	---

今後の施策の方向性	拡充
改善・見直しの方向 中長期 今後の進め方	<p>中小企業を取り巻く現状として、多くの事業所が円安・物価高、構造的な人手不足といった課題に直面しています。こうした課題を解決するためには、価格転嫁やデジタル化に加え人手不足や後継者不足への対策が急務となっています。そのため、区では令和7年度に実施する産業実態調査の結果を踏まえ、中小企業・創業者及び商店街に対して、より実効性のある様々な支援策を講じて、地域経済の活性化に向けた取組を推進します。</p> <p>就労支援センターでは、近年、若者就労支援コーナーにおいてシニア層の新規登録者が増加しているため、今後は利用者層の変化に応じたセミナーや就職相談会を実施するなど事業内容を工夫し就労に繋げていきます。また、就職相談会の開催に当たっては、人材が不足している業種にも積極的に声掛けをして、相談会への参加を促すなどニーズにあつた就労支援事業を進めていきます。</p> <p>観光分野では、杉並区の魅力発信・にぎわいの創出を図るために、産業実態調査で新たに区の観光事業に関する意識調査を実施し、その結果により明らかになった課題等を検証して、今後の観光施策の方向性を定めて推進していきます。また、杉並アニメーションミュージアムは開館20周年を迎えるにあたり、外国人旅行者が増加するなど認知度が高まっています。今後は、区内アニメ制作会社と連携した展示やイベントの開催を積極的に行なうなど、地域の貴重な資源を活用しながら「アニメのまち杉並」の魅力発信を進めていきます。</p> <p>農業分野では、農業経営に意欲的な農業者に対する様々な助成制度や農業ボランティア制度等の積極的な活用を促し、農業経営の安定化と人材確保の支援を行っていきます。また、環境負荷の低減等を図る取組として、全区立学校で実施している「地元野菜デー」を継続するとともに、杉並産農産物の学校給食への利用をさらに推進し、地産地消の取組を進めます。</p>

令和7年度 杉並区施策評価シートII（施策を構成する事務事業）

【施策 08】 【施策名称 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興】 ※金額の単位は千円

整理番号	事務事業名称	実行計画事業 主要事業	令和6年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
			事業費			
1	089 中小企業支援	○ ○	304,555	59,175	363,730	推進（拡充）
2	090 商店街支援	○ ○	359,478	48,338	407,816	推進（拡充）
3	091 アニメの振興と活用	○ ○	105,319	30,630	135,949	現状維持
4	092 観光促進	○	59,107	45,278	104,385	推進（拡充）
5	094 産業商工会館維持管理		55,393	6,694	62,087	現状維持
6	096 農業の支援・育成	○ ○	20,243	25,936	46,179	推進（拡充）
7	097 都市農地確保	○	51,649	25,423	77,072	現状維持
8	098 勤労福祉会館維持管理		57,524	3,577	61,101	現状維持
9	099 就労支援	○ ○	91,337	15,156	106,493	推進（拡充）
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
合計				1,104,605	260,207	1,364,812

施策を構成する事務事業に関する特記事項	(観光促進) 次年度は事業コストを上げることなく手段・方法等の見直しにより改善を行いますが、施策から見た事業の方向性としては、今年度実施する産業実態調査の結果を踏まえ施策目標の達成に向けて推進していくこととします。 (産業商工会館維持管理) 次年度は計量法に基づき湧水用水道メーターの交換時期に当たるため事業コストの方向性は拡充とし、施策から見た事業の方向性は現状維持とします。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	中小企業支援					款 03	項 05	目 01	事業 001	整理番号	089
現担当課名	産業振興センター					係名 就労・経営支援係	連絡先 4114	昨年度 093	整理番号		
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和25年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業	01 03		主要事業 (区政経営報告書掲載事業)			
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般				

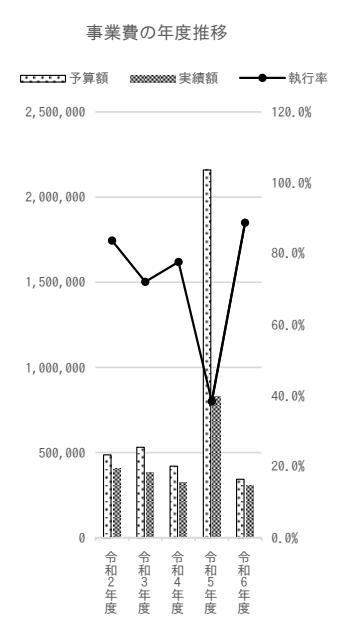
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区中小企業資金融資あっせん条例 杉並区中小企業資金融資あっせん条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○区内の中小企業者及び団体の事業用資金に係る融資のあっせんを行う ○融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う。 ○区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言 (創業・経営相談) を行う。 ○区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	融資あっせん件数		件	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	商工相談件数		件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	金融機関貸付件数		件	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
成果指標	分類 社会成果 (課題) 指標			計画	565	543	564	56.5%	54.3%	56.4%	56.4%
	利子補給金額		千円	150,251	205,999	274,849	259,747	165,965	183,367	187,911	187,911
	分類 社会成果 (課題) 指標			計画	110.5%	89.0%	68.4%	110.5%	89.0%	68.4%	68.4%

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			千円	予算額	530,993	420,011	2,159,317	343,012	344,486
			千円	実績額	326,466	829,505	304,555	-	-
常勤職員分 (再任用含)	上記以外の職員		执行率	83.8%	72.1%	77.7%	38.4%	88.8%	-
			予算額	21,795	38,264	37,544	37,431	46,041	47,058
			実績額	46,511	33,122	35,268	38,674	49,796	-
			执行率	213.4%	86.6%	93.9%	103.3%	108.2%	-
			予算額	15,400	18,140	11,025	12,873	9,518	9,286
			実績額	26,992	18,375	12,873	13,325	9,379	-
			执行率	175.3%	101.3%	116.8%	103.5%	98.5%	-
総事業費 (事業費+人件費)			予算額	523,585	587,397	468,580	2,209,621	398,571	400,830
			実績額	480,889	434,451	374,607	881,504	363,730	-
			执行率	91.8%	74.0%	79.9%	39.9%	91.3%	-
			予算額	2,943	0	0	0	0	0
			実績額	2,703	0	0	0	0	0
			执行率	91.8%	-	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	270,555	149,449	136,441	495,178	0	-
			执行率	-	-	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	0
			执行率	-	-	-	-	-	-
			予算額	2,943	0	0	0	0	0
			実績額	273,258	149,449	136,441	495,178	0	-
			执行率	9285.0%	-	-	-	-	-
			予算額	520,642	587,397	468,580	2,209,621	398,571	400,830
			実績額	207,631	285,002	238,166	386,326	363,730	-
			执行率	39.9%	48.5%	50.8%	17.5%	91.3%	-



特記事項

原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し、区の中小企業資金融資のあっせん制度により融資を受けている事業者を対象として、借換特例資金融資を実施しましたが、申請件数が想定より少なかったため、利子補給にかかる予算に執行残が生じました。

主な取組	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
	借換特例資金融資	234	件	13,454
	中小企業資金融資利子補給			187,911
	中小企業資金融資信用保証料補助	166	件	26,736
	創業スタートアップ助成	62	件	13,666
	その他 (勤労者支援ほか)			62,788

取組成果	原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者のうち、区の中小企業資金融資のあっせん制度により融資を受けている事業者を対象として、借換特例資金融資を実施しました。234件の融資あっせんを行い、融資を受けた区内事業者の返済負担を軽減しました。 創業スタートアップ助成は、より多くの事業者を対象とするため、令和6年10月以降の募集から申請条件の見直しを行った結果、申請数の増加につながりました（家賃助成申請件数6件増、ホームページ作成助成申請件数2件増）。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対して借換特例資金融資を実施し、融資を受けた区内事業者の返済負担を軽減することができましたが、実績が234件と当初の想定より少なかったことから、原因を分析し、今後の施策検討に活かしていく必要があります。 中小企業資金融資あっせん全体の合計件数は731件で昨年度から横ばいですが、そのうち、小規模事業者を対象とした小規模企業小口資金融資の実績が428件となり、昨年度と比べて約93.4%増となりました。物価の高止まりや金利の上昇、人材不足など、社会経済状況は今後も厳しい状況が続くことが予想されますので、小規模事業者への支援を強化していく必要があります。 そのほか、区内で創業する事業者に人気の高い、創業スタートアップ助成や創業支援資金に伴う信用保証料補助などは、区内産業の発展のために今後も実施を継続していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	令和7年度に創設した小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の利子補助制度の申込件数は、6月までで113件となっており、当初の想定を上回るペースとなっています。 創業スタートアップ助成の令和7年度第1回（令和7年4月）の募集は、申込が多かった家賃助成の受付は締め切ったものの、ホームページ作成助成は申込上限に達しませんでした。家賃助成を受けた事業者からは負担の大きい事業所家賃の負担軽減ができる助かるなどの声が寄せられています。 創業後のフォローアップとして、創業スタートアップ助成や創業支援資金、中小企業経営強化法に基づく特定創業支援等事業などの区の支援を受けた事業者を対象としたセミナーを開催する予定です。
事業の方向性・改善策	小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の利子補助制度の申込状況を踏まえ、令和8年度当初予算の規模を検討していきます。 創業後のフォローアップセミナーの受講者へアンケート調査を実施し、参加事業者の要件である創業スタートアップ助成や創業支援資金、特定創業支援等事業の実施効果を検証し、今後の事業の検討に活かしていきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	令和6年度末で借換特例資金の事業を終了したため、令和7年度は予算規模が縮小しましたが、国や都の動向を注視しつつ、産業団体等からの意見や区内中小事業者からの声を踏まえて、必要な施策を検討していきます。 また、現在、区では申請手続きの電子化を進めていることから、ホームページから創業・経営相談の予約申込ができる相談予約システムを構築します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	令和6年度は原油・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し、借換特例資金融資を実施しましたが、想定したほどの申込はありませんでした。引き続き、社会経済状況や他区の動向等を踏まえ必要な支援を検討します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	商店街支援					款 03	項 05	目 01	事業 002	整理番号	090
現担当課名	産業振興センター					係名	商業係			連絡先	5347-9138
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					電話番号	昨年度 整理番号			094
事業開始	昭和63年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	03	予算事業区分		
令和6年度 担当課名	産業振興センター					既定事業					主要事業（区政経営報告書掲載事業）
事業評価区分						事業評価区分	一般				

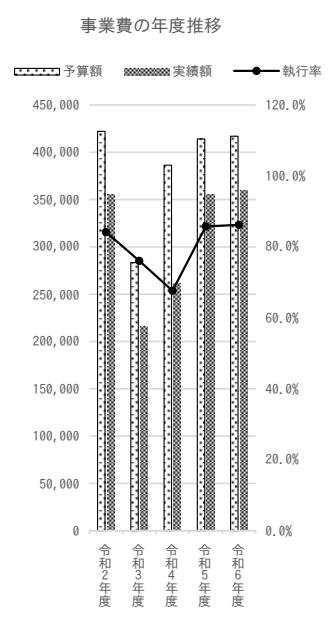
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
商店会等	杉並区商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 杉並区政策課題対応型商店街事業費補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○イベント助成等により商店街のにぎわいづくりを促進とともに、装飾灯LEDランプの交換や防犯カメラ設置の助成により、安全・安心に買い物ができる環境を整備する。 ○商店街を含めた地域一帯のにぎわい創出に向けて行う取組を支援することにより、地域の活性化を推進する。	○商店街が実施するイベント事業経費を助成する。 ○商店街の施設整備に要する経費を助成する。 ○LED装飾灯のランプ交換・維持経費等を助成する。 ○防犯カメラの設置・維持経費等を助成する。 ○商店街マップ作成・情報化推進の事業の経費を助成する。 ○商店街へ助言等を行うアドバイザーを派遣する。 ○商店街が実施する未来を創る商店街支援事業経費を助成する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数		件	110	110	100	100	100	100	100	100
	装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数		商店街	56	75	86	86	86	86	86	86
	商店街のイベントに参加したことのある区民の割合	区民意向調査による	%	50.9%	68.2%	86.0%	86.0%	86.0%	86.0%	86.0%	86.0%
成果指標	分類 区民満足度指標			12	7	8	8	8	8	8	8
	商店会加盟店舗数	年度末の杉並区商店会連合会加盟店舗数	店	6	7	3	3	3	3	3	3
	分類 社会成果（課題）指標			達成率	100.0%	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費		千円	予算額	422,100	283,415	386,357	414,066	416,985	458,489
			実績額	355,318	215,575	261,270	355,100	359,478	-
			執行率	84.2%	76.1%	67.6%	85.8%	86.2%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	40,277	51,018	46,676	58,226	35,577	51,336
			実績額	50,083	48,807	52,160	60,522	40,213	-
	上記以外の職員	千円	執行率	124.3%	95.7%	111.7%	103.9%	113.0%	-
			予算額	4,620	7,256	7,350	3,678	7,614	4,643
総事業費 (事業費+人件費)		千円	実績額	6,966	5,660	4,303	3,807	8,125	-
			執行率	150.8%	78.0%	58.5%	103.5%	106.7%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
			予算額	42,379	101,085	147,668	173,238	179,544	176,383
	その他の補助金等 ③	千円	実績額	246,092	73,604	91,338	144,604	148,618	-
			執行率	580.7%	72.8%	61.9%	83.5%	82.8%	-
特定財源 (①+②+③)		千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
			予算額	424,618	240,604	292,715	302,732	280,632	338,085
			実績額	166,275	196,438	226,395	274,825	259,198	-
			執行率	39.2%	81.6%	77.3%	90.8%	92.4%	-



特記事項

商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数は増加傾向にあるものの、商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（活性化事業）が計画の77.0%にとどまったことや、未来を創る商店街支援事業の一部事業を見送ったこと等により、執行率は86.2%となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）	86	件	140,456
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（活性化事業）	15	件	84,661
	商店街防犯設備の整備等に対する補助	3	件	5,816
	LED装飾灯のランプ交換に対する補助	199	件	5,860
	その他（商店街装飾灯建設助成等）		）	122,685

取組成果	商店街のにぎわいにつながるイベント事業を86件支援したほか、老朽化したアーケードや装飾灯をはじめとする商店街施設の整備、インバウンド需要に対応した商店街の販売促進等の活性化事業15件を支援しました。その他、安心・安全な商店街環境の整備を図るために、3商店街に計22台の防犯カメラの設置補助を行うとともに、耐用年数を経過したLED装飾灯のランプ交換に要する経費について、東京都の補助制度を活用し199件の全額補助を行いました。また、コロナ禍や物価高騰により大きな影響を受けた商店街のにぎわいを取り戻すために、希望によりアドバイザー等を派遣し、イベント創設等の支援を行う「商店街トライアル事業」を令和6年度から新たに実施し、イベント事業1件、活性化事業2件（商店街マップの作成、装飾灯フラッグの作成）、個店連携事業2件（書店等による事業連携、古着屋マップの作成）の支援を行いました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	コロナ禍の影響により令和2年度には32件まで落ち込んだ「商店街チャレンジ戦略支援事業」のイベント実施件数は、令和元年度の94件に対し、令和6年度は86件（前年度比9件増）まで回復し、令和2年度以降、順調に推移しています。一方で、物価高騰の影響に加え、商店街の役員の高齢化や後継者不足により、活力が低下している商店街も増加しています。こうした商店街のにぎわいを取り戻すため、令和6年度に区単独事業である「商店街トライアル事業」を開始し、新規イベントの創設1件、商店街フラッグおよびマップの作成2件、同業種の個店による連携事業2件の、合わせて5件に対して補助を行いました。今後も、各商店街が抱える課題を丁寧に聞き取り、課題解決に向けた助言を行っていく必要があります。また、耐用年数を経過した199件のLED装飾灯のランプ交換に要する経費については、東京都の補助制度を活用し、全額補助を行いました。さらに、3商店会に対して計22台の防犯カメラの増設・更新にかかる補助も実施しました。令和6年度からは、電気料金の高騰を受け、商店街が設置する防犯カメラ1台当たりの電気料補助の上限を月額300円から400円に増額しました。これらの取組により、安心・安全で環境にやさしい商店街づくりを推進することができました。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	令和7年度の商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業）の申請件数は、「子ども応援事業」などの新規メニューの追加や、昨年度から開始した「商店街トライアル事業」でイベントのノウハウを学んだ商店街が申請したことにより、前年度実績より7件多い93件となっています。また、耐用年数を経過したLED装飾等ランプの交換予定件数は、前年度実績に比べて48件多い247件。また防犯カメラの新設・交換予定件数は前年度実績に比べて77件多い99件となる見込みで、安心・安全で環境にやさしい商店街づくりが進んでいます。
事業の方向性・改善策	物価高騰等により大きな影響を受けた商店街のにぎわいを取り戻すために、商店街のキャッシュレス化の推進を図るとともに、商店街が独自にポイント還元率やポイント付与上限、事業者を決定し実施する「キャッシュレスポイント還元事業」を創設しました。また、イベント等を行うことが難しい商店街が、商店街のPR動画をSNSでインフルエンサー等に発信してもらい、来街者の増加を図ることを目的とした「ショート動画事業」を創設するなど、時代に即した支援を進めています。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	東京都の新規メニューとして、「未来商店街活力向上支援事業」（令和5年度に開始した「未来を創る商店街支援事業」の後継事業）、「暑さ対策のスペース・設備の設置」及び、「商店街戦略的リノベーション支援事業」が追加されたことから、希望する商店街が確実に実施できるよう東京都の補助金を有効に活用し、適切な支援を行っていきます。こうした支援により、商店街の活性化を図っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	物価高騰の影響などを踏まえながら、引き続き商店街のにぎわいや活性化につながる事業の充実を図っていきます。また、老朽化した商店街施設の更新等への支援を着実に進めていく必要があることから、引き続き国や都の補助金等を活用しながら商店街の支援を行います。商店街で安全・快適に買い物ができる環境整備に取り組んでいく中で、必要な改善を図っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	アニメの振興と活用					款 03	項 05	目 01	事業 003	整理番号	091	
現担当課名	産業振興センター					係名	観光係		連絡先	5347-9184	昨年度 整理番号	095
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般					

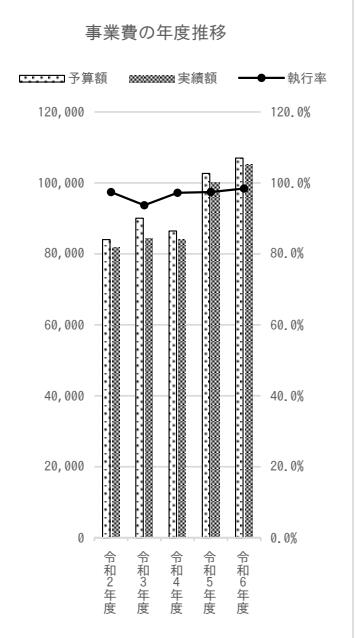
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区立杉並会館条例 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。 ○杉並アニメーションミュージアムを運営する。 ○アニメを活かした商店街等の振興を図る。 ○区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPR、使用料の無償化による商用利用を促進する。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数			日	164	307	300	307				
「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数			日	161	297	299	299				
杉並アニメーションミュージアムの年間来館者数			人	98.2%	96.7%	99.7%	99.7%				
分類 行政サービス成果指標			件	80	80	80	80				
「なみすけ」使用承認件数			件	51	54	62	62				
分類 行政サービス成果指標			件	63.8%	67.5%	77.5%	77.5%				

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	84,022	90,056	86,449	102,678	107,009	117,258						
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額	20,923	20,407	20,023	19,963	20,090	29,946					
	予算額	26,274	25,196	23,706	23,523	30,630							
	実績額	125.6%	123.5%	118.4%	117.8%	152.5%							
	執行率	3,080	3,628	3,675	3,678	3,807	0						
	上記以外の職員	予算額	3,628	3,675	4,759	0							
	実績額	117.8%	101.3%	100.1%	129.4%	0.0%							
総事業費	千円	予算額	108,025	114,091	110,147	126,319	130,906	147,204					
(事業費+人件費)	予算額	111,756	113,261	111,431	128,318	135,949							
	実績額	103.5%	99.3%	101.2%	101.6%	103.9%							
財源	受益者負担分①	予算額	0	0	1,500	1,500	1,950	2,500					
	実績額	0	1,500	1,851	1,966	2,804							
	執行率	-	-	123.4%	131.1%	143.8%							
	国・都からの補助金②	予算額	0	0	0	0	0	0					
	実績額	3,290	3,578	3,322	3,279	3,662							
	執行率	-	-	-	-	-							
	その他の補助金等③	予算額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
	実績額	5,364	5,000	5,000	5,000	5,000							
	執行率	107.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%							
特定財源	予算額	5,000	5,000	6,500	6,500	6,950	7,500						
(①+②+③)	実績額	8,654	10,078	10,173	10,245	11,466							
	執行率	173.1%	201.6%	156.5%	157.6%	165.0%							
差引：一般財源	予算額	103,025	109,091	103,647	119,819	123,956	139,704						
(総事業費-特定財源)	実績額	103,102	103,183	101,258	118,073	124,483							
	執行率	100.1%	94.6%	97.7%	98.5%	100.4%							



特記事項

内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
杉並アニメーションミュージアム運営業務委託			68,687
杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託			14,344
なみすけの普及			5,014
他区との連携事業			4,933
その他 (杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか)			12,341
杉並アニメーションミュージアムでは、人気アニメコンテンツを活用した企画展の実施等を行いましたが、来館者数は令和5年度から7,949人減の49,342人となりました。一方、外国人来館者数が増加傾向にある中、中断していた企画展の多言語音声ガイドの更新を再開するなど外国人旅行者の更なる誘致につながる取組を実施したことで、令和5年度から856人増の6,845人となりました。加えて、20代から50代の年齢層を対象とした企画展を実施したことにより、北海道や沖縄などの遠方からの来館があるなど、広く情報発信することができました。 また、広域的な取組として中野・杉並・豊島アニメ等地域プランディング事業実行委員会による、「すぎなみフェスタ」と連携したイベントを令和5年度に引き続き開催しました。参加者数は、人気アニメコンテンツの使用などで多くの参加のあった令和5年度から2,022人減の2,819人とはなりましたが、来館者に「アニメのまち杉並」の魅力を発信することができました。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>アニメが、世界に誇る日本の文化として国内外で高い評価を得ていることに伴い、多くの関心が高まっていることに加え、外国人旅行者の増加によるインバウンド需要も進んでおり、それらに対応するため当区においても今後様々な取組を進めていく必要があります。杉並アニメーションミュージアムは、開設以来、展示の充実や積極的な情報発信により、杉並の観光拠点として来館者数を増やしています。令和6年度は、令和5年度から7,949人減の49,342人となりましたが、令和5年度の企画展『SPY×FAMILY』が予想を超える来館者数となつたことが減少の要因です。令和4年度の来館者数と比べると10,218人増となり、概ね年間目標数を達成しております。加えて、外国人来館者数は令和5年度から856人増の6,845人となり、コロナ禍前の水準に回復しつつあります。また、20代から50代の年齢層を対象とした企画展を実施したことにより、東京都外の遠方からの来館があるなど、広く情報発信することができました。今後も特定層をターゲットとした企画を実施するなど来館者数を増やす取組を積極的に行っていきます。</p> <p>中野・杉並・豊島アニメ等地域プランディング事業実行委員会の取組として、「すぎなみフェスタ」と連携したイベントを令和5年度に引き続き開催しました。参加者数は、人気アニメコンテンツを活用することができますが、令和5年度から2,022人減の2,819人となりましたが、今後も3区一体となった広域的な情報発信を行うとともに、アニメを活用した区内外からの誘客を図る取組を行っていきます。</p> <p>また、「なみすけ」の使用登録件数は、イベント数の増加等により令和5年度に比べ約1.6倍の144件となり目標数を上回ることができました。なみすけグッズフェアやイベント出演を通じて、さらなるキャラクター認知度の向上、デザインの利用促進を図ります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>令和7年4月～7月期における杉並アニメーションミュージアムの来館者数は人気コンテンツの企画展を開催したことにより、令和6年度同時期に比べ約216%増加しています。一方、外国人来館者数は、例年に比べ多い令和6年度から733人減少となりましたが、外国人来館者数は依然高い数値です。杉並アニメーションミュージアムが開館20周年を迎えて、記念イベントとして、これまでの取組を紹介する特別展示や区内アニメ制作会社と連携したPR展を区役所で開催しました。8日間の開催期間で約5,000人の来場があり、アニメーションミュージアムの認知度向上及び来館促進が図されました。中野・杉並・豊島アニメ等地域プランディング事業実行委員会では、「すぎなみフェスタ」と連動したイベントの開催に向けて、区内アニメ制作会社のアニメ作品等のPRブースや東京工芸大学等の参加型ブースの設置、区内アニメ制作会社の紹介冊子の制作に向けて連携を図り、「アニメのまち杉並」を広く情報発信をしていく予定です。今後もアニメ産業の活性化と観光客の誘引に繋がる魅力の発信に努め、杉並アニメーションミュージアムの来館者数を増やす取組を進めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>外国人旅行者の増加によるインバウンド需要の急速な回復等により、杉並アニメーションミュージアムの来館者数の更なる増加が予想されます。人気アニメコンテンツを活用した企画や常設展等の充実、区内アニメ制作会社との連携による展示やイベント開催などにより、杉並アニメーションミュージアムの魅力を高める取組を進めていきます。情報発信については、受託事業者と連携し、SNSを活用した効果的な発信を行い、認知度を高める取組を進めます。</p> <p>また、「なみすけ」については、企業との連携イベントやグッズ販売などを積極的に行い、更なる認知度の向上、利用促進を図ります。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	杉並アニメーションミュージアムの認知度を高め、来館者数を増やすため、魅力あるコンテンツを活用した企画や区内アニメ制作会社と連携した展示、イベントの開催などに取り組むほか、常設展示や体験展示などの充実、インバウンド向けの多言語対応の更なる対策、SNS等を活用した効果的な情報発信を図り、全国に杉並アニメーションミュージアムの魅力を発信することが引き続き必要となるため、既存事業の見直しを行なう新たな事業を進めていきます。 また、今後も中野・杉並・豊島アニメ等地域プランディング実行委員会や区内アニメ制作会社などと連携し、広域的な情報発信やイベントの開催に取組み、「アニメのまち杉並」の魅力を高め、地域のにぎわい創出を継続していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	なみすけについて、グッズの販売が好調であり、企業との連携イベントでも集客が見込まれることから、こうした取組をより強化することで、さらなる認知度アップを図るとともに、来街者の増加やにぎわいの創出につなげていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	観光促進					款 03	項 05	目 01	事業 004	整理番号	092
現担当課名	産業振興センター					係名	観光係			連絡先	5347-9184
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					電話番号	昨年度 整理番号			096
事業開始	平成26年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	04			
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	既定事業				

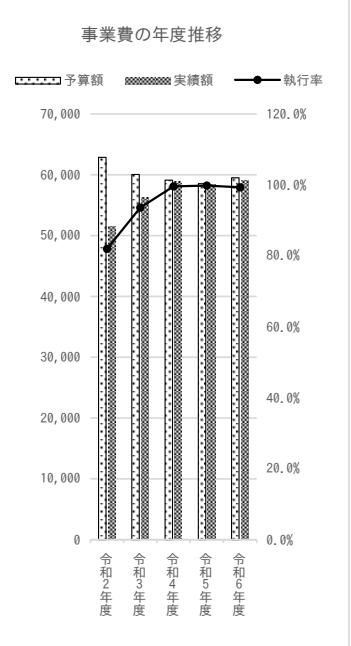
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民、区外來街者（海外含む）、商店・事業者	中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちのにぎわい」や「商機」を創出する。	○中央線あるあるプロジェクトを推進する。 ○東京高円寺阿波おどりを支援する。 ○すきなみ学倶楽部を運営する。 ○魅力発信事業を実施する。 ○フィルムコミッショニングを運営する。 ○図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和7年度
				計画	実績	令和5年度	令和6年度	
	中央線あるあるプロジェクトWEB等情報発信数	日本語及び外国語WEB、Facebook、インスタグラムでの情報発信数	回	309	316	240	230	
				347	343	234	-	
				達成率	112.3%	108.5%	97.5%	-
	すきなみ学倶楽部掲載頁数	ページ、コラム、なみすけインスタグラムへの掲載数	頁	252	212	212	176	
				252	212	212	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	共催イベント集客数	東京高円寺阿波おどり及び高円寺フェスの来場者数	人	213,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	
				202,829	1,179,709	1,202,193	-	
				達成率	95.2%	96.7%	98.5%	-
	分類 社会成果（課題）指標							
	すきなみ学倶楽部アクセス数	ページビュー数	件	800,000	990,000	1,000,000	1,000,000	
				988,506	909,296	944,910	-	
	分類 社会成果（課題）指標			達成率	123.6%	91.8%	94.5%	-

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	62,869	60,049	59,122	58,539	59,510	60,424						
		51,538	56,211	58,877	58,432	59,107	-						
		82.0%	93.6%	99.6%	99.8%	99.3%	-						
人件費	常勤職員分 (再任用含)	40,103	39,114	38,378	38,263	38,507	29,946						
	千円	45,831	45,052	45,832	35,242	36,363	-						
		114.3%	115.2%	119.4%	92.1%	94.4%	-						
	上記以外の職員	3,080	3,628	3,675	3,678	3,807	9,286						
		3,628	3,675	3,678	3,807	8,915	-						
		117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	234.2%	-						
総事業費	千円	106,052	102,791	101,175	100,480	101,824	99,656						
(事業費+人件費)		100,997	104,938	108,387	97,481	104,385	-						
		95.2%	102.1%	107.1%	97.0%	102.5%	-						
財源	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0						
		0	0	0	0	0	0						
	国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0						
	その他の 補助金等 ③	821	255	732	743	381	-						
	特定財源 (①+②+③)	0	4,000	1,163	1,163	632	0						
		821	255	732	743	381	-						
	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	106,052	98,791	100,012	99,317	101,192	99,656						
		100,176	104,683	107,655	96,738	104,004	-						
		94.5%	106.0%	107.6%	97.4%	102.8%	-						



特記事項

すきなみ学倶楽部掲載頁数は、インスタグラム記事制作数を内容の充実を図るために月8本から月5本へ見直ししたことにより計画が減少しています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	「にぎわい・商機」創出プログラム（中央線あるあるプロジェクト）			39,000
	すぎなみ学俱楽部の運営			8,206
	観光PR事業委託（魅力発信事業、デザインマンホール蓋制作委託）			5,445
	観光事業補助（東京高円寺阿波おどり）			4,000
	その他（その他（観光PR（図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか）））			2,456

取組成果	中央線あるあるプロジェクトでは、これまでと同様、WEBやSNSによる情報発信や、外国語マップの制作を行ったほか、新たに外国人に向けたPR動画や新規アニメフラッグの制作、武蔵野市と連携し学生と制作したパンフレットを活用した謎解きイベントを実施しました。また、すぎなみ学俱楽部では、荻窪駅周辺にあわせて区民ライターが荻窪三庭園に関する記事を制作する等により、一年を通して944,910件のアクセスがありました。東京高円寺阿波おどりは、ふれおどりを含めた来場者数が約98万人になりましたが、大きな事故もなく開催することができました。魅力発信事業では、西武新宿線及び京王井の頭線沿線を含めた区内全域を対象にデジタルスタンプラリーを実施し、5,343人の参加者があり、両路線沿いの魅力を発信することができました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数統計では、令和6年度は、訪日外客数が新型コロナウイルス感染症による減少から回復し、年間で過去最高となる約3,600万人を超えていました。こうしたインバウンド需要の急速な回復に対応するため、観光客の区内への誘致を積極的に行う必要があります。令和6年度は、継続的に実施しているイベントの情報発信を行うとともに、新たなSNSの運用を開始し、時勢にあった様々な情報や個店の紹介を行いました。「中央線あるあるプロジェクトWEB等情報発信数」は目標値を下回りましたが、一方で、ユーザー数やアクセス数は着実に伸びていることから、今後、より効果的な発信方法等を研究していきます。「共催イベント集客数」については、高円寺フェスでは、約22万人の来場者があり、また、東京高円寺阿波おどりは、本大会前日のふれおどりを含め約98万人の来場があり、前年度より約2万人増加しました。すぎなみ学俱楽部では、荻窪駅周辺に伴い荻窪三庭園に関する記事を制作する等により、アクセス数が前年度から35,614件増の944,910件となりました。引き続き「杉並ならでは」の魅力ある観光コンテンツを充実させ、インバウンド需要回復の好機を捉え、区内全域の周遊につながるイベントやWEBを活用した積極的な情報発信に取り組みながら、来街者を増やし、まちのにぎわい・商機を創出します。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	「中央線あるあるプロジェクト」では、昨年好評であった取組を引き続き実施することとし、事業者とのタイアップ企画として、あなたが魅つける「なみじやない、杉並！」フォトコンテスト2025を令和7年5月から開催しています。9月には渋谷で開催される写真展に出展し、イベントの周知や杉並の魅力を発信するほか、浴場組合や、武蔵野市、JR東日本等との連携事業を秋の実施に向けて検討しています。また、外国人に向けた情報発信として、繁体字版のSNSを4月から新たに開始し、海外現地でのPR施策として、東京高円寺阿波おどり台灣公演にあわせて迪化街にある合勝堂で杉並区を紹介するイベントを開催しました。年度後半に向けては、区内在住・来街する外国人の満足度の向上に資する事業の準備を進めています。「すぎなみ学俱楽部」では、戦後80年を契機とする当時の杉並の様子を紹介する冊子を7月に発行しました。「魅力発信事業」では、令和7年6月にプロボーザルにより選定した事業者による、西武新宿線及び京王井の頭線沿線を含めた区内全域の魅力発信をアニメで発信することをコンセプトに、人気声優の声でめぐる街歩きイベントの開催に向けた準備を行っています。
事業の方向性・改善策	令和7年度は、訪日外国人旅行者数が今後も増加し続けることを見据え、杉並区の魅力を区外および国外に向け、直接的な来街促進に資する観光情報の発信等を更に充実させる必要があります。実際の来街が期待できるイベントの実施や、ウェブおよびSNSで効果的に魅力を発信していくため、「中央線あるあるプロジェクト」の実行委員や「すぎなみ学俱楽部」の区民ライター等との十分な意見交換を踏まえ、新たな発信方法を模索した上で「杉並」の魅力を発信します。また、「魅力発信事業」については、JR中央線沿線の魅力発信に加え、西武新宿線及び京王井の頭線沿線を含めた区内全域の回遊性を高め、観光客誘致によるまちのにぎわい創出につながる取組を進めます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	令和7年度に実施する事業の実績報告書や効果測定を分析した上で、引き続き、官民連携で取り組む「中央線あるあるプロジェクト」や区民ライターが企画・取材をし、杉並の魅力を紹介する、杉並区の公式ウェブサイト「すぎなみ学俱楽部」を通じて、杉並区の魅力を発信していきます。また、「魅力発信事業」では、中央線沿線の魅力発信に加え、西武新宿線及び京王井の頭線沿線も取り上げることで、区内全域のにぎわい創出や集客の促進につなげます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	直接的な来街促進に資する観光情報の発信等を更に充実させる必要があるため、「中央線あるあるプロジェクト」の実行委員や「すぎなみ学俱楽部」の区民ライター等との十分な意見交換を行なながら、新たな手法を用いてウェブおよびSNSでより効果的に魅力を発信することで、コストを上げることなく、にぎわい創出等につながる取組を進めていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	産業商工会館維持管理					款 03	項 05	目 01	事業 006	整理番号	094	
現担当課名	産業振興センター					係名	管理係		連絡先	4112	昨年度 整理番号	098
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和40年度		分野	02	施策	08	計画事業					
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	施設維持管理					

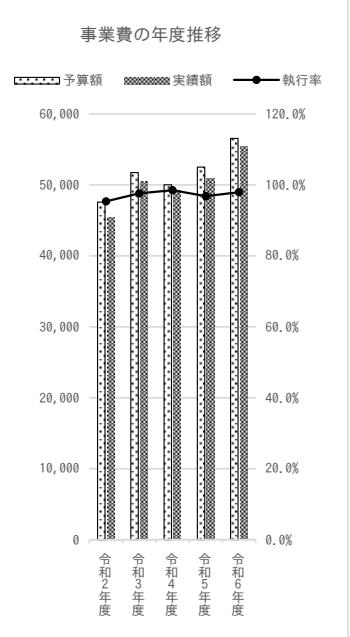
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地方自治法第244条 杉並区立産業商工会館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○杉並区の産業振興を目的とし、区内産業団体等に商品展示場・会議室等を提供する。 ○産業商工会館を適切に維持管理する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画 実績 達成率	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					-	-	-	-
					-	-	-	-
成果指標					-	-	-	-
					-	-	-	-
	分類				-	-	-	-
成果指標	分類				-	-	-	-
					-	-	-	-
					-	-	-	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		予算額	51,739	50,017	52,512	56,553	58,977
事業費	千円	実績額	45,373	50,510	49,274	50,851	55,393
		執行率	95.4%	97.6%	98.5%	96.8%	97.9%
		予算額	4,359	4,252	3,337	3,158	6,660
人件費	千円	実績額	5,102	4,172	4,076	6,600	6,694
		執行率	117.0%	98.1%	122.1%	209.0%	100.5%
		予算額	0	726	735	0	0
総事業費 (事業費+人件費)	千円	実績額	0	735	736	0	0
		執行率	-	101.2%	100.1%	-	-
		予算額	51,937	56,717	54,089	55,670	63,213
財源	千円	実績額	50,475	55,417	54,086	57,451	62,087
		執行率	97.2%	97.7%	100.0%	103.2%	98.2%
		予算額	5,040	4,326	4,431	4,455	4,912
受益者負担分 ①	千円	実績額	2,446	3,664	4,949	4,836	4,831
		執行率	48.5%	84.7%	111.7%	108.6%	98.4%
		予算額	0	0	0	0	55
国・都からの 補助金 ②	千円	実績額	458	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	-
その他の 補助金等 ③	千円	実績額	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	5,040	4,326	4,431	4,455	4,912
特定財源 (①+②+③)	千円	実績額	2,904	3,664	4,949	4,836	4,831
		執行率	57.6%	84.7%	111.7%	108.6%	98.4%
		予算額	46,897	52,391	49,658	51,215	58,301
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	実績額	47,571	51,753	49,137	52,615	57,256
		執行率	101.4%	98.8%	99.0%	102.7%	98.2%



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	産業商工会館運営業務委託	1	所	35,054
	産業商工会館建物維持管理委託	1	所	15,659
	光熱水費の支出	1	所	2,399
	施設設備修繕			2,032
	その他 (消耗品購入ほか)			249

取組成果	令和6年度の施設利用実績は4,003回となり令和5年度の4,065回と比べ微減しましたが、産業登録団体の利用実績は昨年度に比べ約3%増加し、905回となりました。また、施設の老朽化に伴い設備等の不具合が発生したため、汚水槽水位センサー取替、展示場室内のブラインド交換及び和室の新畳入れ替えなど、施設利用者に不便が生じないよう、営繕課や運営業務受託者と連携し修繕を行いました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	令和7年6月に実施した利用者アンケートによる満足度が、令和6年11月の88.1%に比べ0.1ポイント微増し88.2%となりました。施設全般の管理に関して上昇していますが、電話対応については7.6ポイント減少したので、あらためて電話対応研修の実施等が必要です。また、Wi-Fiの設置については、都補助金を活用し設置の準備を進めており、11月に運用を開始する見込みです。
事業の方向性・改善策	施設が老朽化しているため給排水設備やドア等の劣化が生じていますが、日常点検を丁寧に行うことで不具合を早期に発見し、利用者に不便が生じないよう適切に対処します。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	施設の湧水用水道メーターが計量法による法定交換時期に当たるため、必要な経費を精査し計上します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	施設が老朽化しているため設備等の劣化が生じていますが、必要な機器の交換等を適切に行うとともに日常点検を丁寧に行い施設維持管理を適切に行っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	農業の支援・育成					款 03	項 05	目 02	事業 002	整理番号	096				
現担当課名	産業振興センター					係名 都市農業係	連絡先 電話番号 5347-9136	昨年度 整理番号	101						
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業							
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業 06		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
令和6年度担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般								

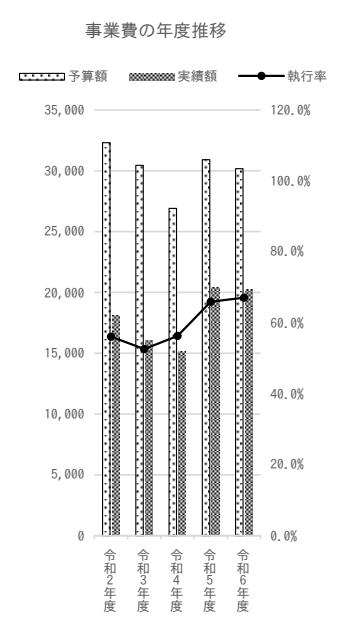
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区農活動支援補助金交付要綱 杉並区農業体験農園に対する援助等に関する要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○地産地消事業の推進・拡充 ○農業支援・保全策の充実 ○都市農業についての区民理解の向上 ○地産地消推進連絡会の運営を行う。 ○農業活動支援費の助成を行う。 ○農業体験農園の開園・運営に関する助成を行う。 ○防災兼用農業用井戸の設置に伴う助成を行う。 ○草花植木野菜等展示即売会を開催（春・秋）する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	農家戸数	農地台帳上の区内農家戸数	戸	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				計画	125	121	119	119		
				実績	121	119	119	119	-	-
成果指標	区主催即売会実施日数	草花植木野菜等展示即売会（春・秋）	日	達成率	96.8%	98.3%	100.0%	100.0%	-	-
				計画	3	3	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3	-	-
成果指標	農地面積	農地台帳上の区内農地面積	ha	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
				計画	37.7	37.4	36.2	36.2		
				実績	37.4	36.2	36.2	36.2	-	-
分類	社会成果（課題）指標	草花植木野菜等展示即売会（春・秋）売上金額	千円	達成率	99.2%	96.8%	100.0%	100.0%	-	-
				計画	1,800	1,800	1,800	1,800	2,300	
				実績	1,955	2,363	2,460	2,460	-	-
分類	利用者満足度指標			達成率	108.6%	131.3%	136.7%	136.7%	-	-

事業費	千円	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		予算額	32,310	30,447	26,910	30,912	30,171	33,410
		実績額	18,125	16,018	15,151	20,386	20,243	-
人件費	千円	執行率	56.1%	52.6%	56.3%	65.9%	67.1%	-
		予算額	11,333	12,755	12,515	12,477	16,742	17,112
		実績額	12,755	12,515	15,638	19,756	17,625	-
上記以外の職員	千円	執行率	112.5%	98.1%	125.0%	158.3%	105.3%	-
		予算額	4,620	5,442	5,513	5,517	5,711	4,643
		実績額	5,442	5,513	5,517	5,863	8,311	-
総事業費	千円	執行率	117.8%	101.3%	100.1%	106.3%	145.5%	-
		予算額	48,263	48,644	44,938	48,906	52,624	55,165
		実績額	36,322	34,046	36,306	46,005	46,179	-
財源	千円	執行率	75.3%	70.0%	80.8%	94.1%	87.8%	-
		予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
①	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	5,571	5,707	2,853	7,523	2,853	4,100
		実績額	5,000	0	0	4,245	0	-
②	千円	執行率	89.8%	0.0%	0.0%	56.4%	0.0%	-
		予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
③	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	5,571	5,707	2,853	7,523	2,853	4,100
		実績額	5,000	0	0	4,245	0	-
(①+②+③)	千円	執行率	89.8%	0.0%	0.0%	56.4%	0.0%	-
		予算額	42,692	42,937	42,085	41,383	49,771	51,065
		実績額	31,322	34,046	36,306	41,760	46,179	-
差引：一般財源	千円	執行率	73.4%	79.3%	86.3%	100.9%	92.8%	-
		予算額	42,692	42,937	42,085	41,383	49,771	51,065
		実績額	31,322	34,046	36,306	41,760	46,179	-
(総事業費-特定財源)	千円	執行率	73.4%	79.3%	86.3%	100.9%	92.8%	-



特記事項

事業費の実績額減の主な理由は、令和5年度はハウス栽培における温室効果ガス削減事業を行ったが、令和6年度はなかったため。防災兼用農業井戸及び農業体験農園の新規開園などの実績がなかったため執行残が生じました。

主な取組	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
	営農活動支援費の補助	24	件	9,941
	農業体験農園の開園・運営に関する助成	1	件	410
	企業的農業経営者集団補助	5	件	1,275
	その他（農業情報誌「杉並農人」発行ほか）			8,617

取組成果	<p>営農活動の支援として、農業体験農園の運営助成を1件、企業的農業経営集団活動支援助成を5件行なったほか、農業者等からの意見を踏まえ、営農活動支援補助制度を拡充し24件の助成を行いました。また、農業ボランティアの登録数も14名増加し、62名となりました。さらに、地産地消を推進するため、区主催の即売会の開催や学校給食「地元野菜デー」を7月、12月に全区立学校において実施するとともに杉並産農産物の学校給食への提供を一層推進するためモデル校2校を選定し、学校給食で利用する野菜の調整・配送等を試行実施しました。その他にも、農業情報誌「杉並農人」「農産物直販マップ」や東京都エコ農産物の認証取得農業者を紹介するリーフレットを発行しました。</p>
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>営農活動支援補助制度の拡充など、都市農業の維持・継続のため施策推進に努めるものの農家戸数及び農地面積は、高齢化や後継者不足問題などにより年々減少を続けており、令和7年3月31日時点の農地面積は36.2ha、農家戸数は119戸となっています。引き続き、農地の保全や農業人材の確保を図るため、農業者の意向やニーズを的確に把握し、都市農地貸借等の農地制度や、農業ボランティアの活用に関する事業の周知及び制度の利用勧奨を行っていく必要があります。</p> <p>JAや関係団体との連携を強化し、即売会の開催や情報誌の発行などを通じ、都市農地の必要性についての区民理解の促進を図るとともに、「地元野菜デー」の全校実施など地産地消を一層推進していく必要があります。また、令和6年度にモデル校2校で試行実施した学校給食への杉並産農産物利用拡大に向けた取組では、配送や作物の収量の課題等を整理し、令和7年度以降の取組に向けて検討を進めます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>営農活動支援補助金について、農家の営農状況やニーズを踏まえて対象項目を増やしたこともあり、昨年度を上回る31件の農家への経営支援を行いました。また、農業ボランティアの養成・登録を進め、30名以上のボランティアを農業者にマッチングし、農業者の人的支援を行いました。</p> <p>「地元野菜デー」については、昨年度に引き続き令和7年7月に全区立学校にて実施し、この際発生した課題等を整理しながら12月の実施に向けて準備を進めます。また、教育委員会や関係団体と連携を強化し、地産地消推進連絡会において、学校給食に杉並産農産物をより活用していく仕組みについての検討を行い、地産地消を推進しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>営農活動支援補助金の助成などにより、農業経営の安定化を図るとともに、高齢化や後継者不足に悩む農業者と農業ボランティアのマッチングを推進することにより、人材の確保に努め、都市農地の保全を図ります。また、教育委員会や関係団体との連携を強化し、引き続き「地元野菜デー」の全区立学校での実施を継続するとともに、杉並産農産物の学校給食への利用拡大に向けての検討を進め、更なる地産地消を推進していきます。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	<p>都市農地を保全していくためには、農業の担い手の確保が喫緊の課題であるため、都市農地貸借法等による貸借制度の周知を図るとともに、農業ボランティアバンクの登録者を充実させ、農業者と農業ボランティアのマッチングを着実に進めています。</p> <p>また、環境への負荷の低減等が図られる地産地消を推進するため、即売会の拡充や教育委員会及び農業関係団体と連携した「地元野菜デー」の全区立学校における継続実施に向けて取り組むとともに、杉並産農産物の学校給食への利用拡大の令和8年度本格実施に向けた検討を進めています。</p>
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	<p>農地貸借や農業者と農業ボランティアのマッチングを推進するため、より分かりやすいチラシ等を作成するなど周知を積極的に行っていきます。また、杉並産農産物の学校給食への利用拡大を図るため、教育委員会や農業者等と調整・連携を図りながら、本格実施に向けて事業の改善を図っていきます。</p>

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	都市農地確保					款 03	項 05	目 02	事業 003	整理番号	097
現担当課名	産業振興センター					係名 都市農業係	連絡先 5347-9136	昨年度 整理番号	102		
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和49年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業 06						
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般				

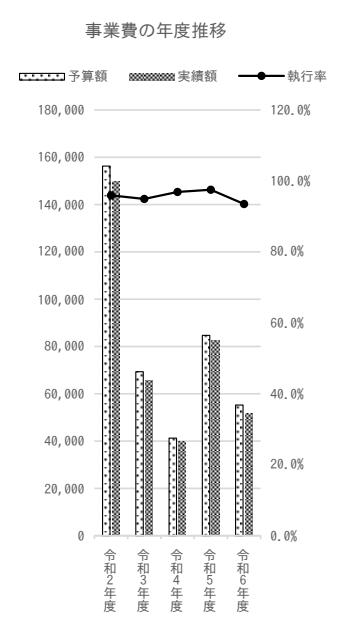
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民農園：利用抽選に当選した世帯・団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体） 農福連携農園：利用抽選に当選した団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体）	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 杉並区特定農地貸付規程
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○農園の区画提供による都市農業への理解喚起 ○農地面積の維持による緑地の保全 ○農地の多面的機能の発揮と理解促進	○区民農園：農業者等から提供された農地を区が管理し、区民農園として区民に野菜づくりや園芸を楽しむ機会を提供する。 ○農福連携農園：農地を活用し、農業と福祉の連携事業として農産物、農作業を通じて障害者等のいきがいづくり・健康増進などを図る。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	貸出区画数	区民農園貸出区画数（世帯用）	区画	計画	629	832	802	793
				実績	629	802	802	-
				達成率	100.0%	96.4%	100.0%	-
成果指標	農園利用団体数	貸出区画利用障害者施設等団体数	団体	計画	11	11	11	12
				実績	11	11	11	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
分類	区民農園の面積	区が維持管理している区民農園面積の合計	h a	計画	1.1	1.5	1.5	1.5
	行政サービス成果指標			実績	1.1	1.5	1.5	-
	団体利用農園活動実績			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
分類	利用者満足度指標	団体利用農園活動回数	回	計画	250	340	340	300
				実績	337	294	293	-
				達成率	134.8%	86.5%	86.2%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	156,272	69,331	41,256	84,701	55,242	54,811
		実績額	149,908	65,810	39,973	82,596	51,649	-
		執行率	95.9%	94.9%	96.9%	97.5%	93.5%	-
人件費	千円	予算額	14,821	12,755	12,515	12,477	12,557	17,112
		実績額	17,431	12,515	15,638	19,756	17,112	-
		執行率	117.6%	98.1%	125.0%	158.3%	136.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	4,620	5,442	5,513	5,517	5,711	4,643
		実績額	5,442	5,513	5,517	5,863	8,311	-
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	106.3%	145.5%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	175,713	87,528	59,284	102,695	73,510	76,566
		実績額	172,781	83,838	61,128	108,215	77,072	-
		執行率	98.3%	95.8%	103.1%	105.4%	104.8%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	4,403	4,396	4,430	5,318	5,664	5,680
		実績額	4,447	4,456	4,408	6,202	5,702	-
		執行率	101.0%	101.4%	99.5%	116.6%	100.7%	-
国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	50
		実績額	0	0	0	17,512	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	4,403	4,396	4,430	5,318	5,664	5,730
		実績額	4,447	4,456	4,408	23,714	5,702	-
		執行率	101.0%	101.4%	99.5%	445.9%	100.7%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	171,310	83,132	54,854	97,377	67,846	70,836
		実績額	168,334	79,382	56,720	84,501	71,370	-
		執行率	98.3%	95.5%	103.4%	86.8%	105.2%	-



特記事項
事業費の実績額減の主な理由は、令和5年度井草区民農園開設整備事業を行ったが、令和6年度はなかったため。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	区民農園維持管理委託	8	所	21,967
	農福連携農園管理委託	1	所	26,235
	その他 (事務経費ほか)			3,447

取組成果	区民農園7園833区画（世帯貸802区画、団体貸31区画）の貸付を実施するとともに、3年に一度の区民農園の一斉募集を行い、令和7年3月からは世帯貸793区画、団体貸40区画の合計833区画の貸付となりました。また、上井草二丁目団体利用農園では、区内の小学校や保育園等延べ52団体1,635名の収穫体験を実施するとともに、栄養士及び農業者と給食食材等に関する検討会を行いました。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂への食材提供を37団体に対し延べ300回行うとともに、不登校状態にある区内生徒や認知症高齢者グループホーム利用者の活動が新たに行われました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	区民が農に親しむことができる場を拡充に努めているものの、収穫体験等のイベントの応募者数は増加しており、また、区民農園の一般区画の応募倍率は2.2倍になる等、農にふれあう機会の需要は高まっています。農福連携農園においては、障害者施設や就労支援センターなど11団体への区画貸出や障害者・高齢者等のいきがい創出の機会の提供、さらに区民ボランティアの活用や地域との連携事業などを継続して実施し、都市農業・農地保全の大切さについてさらなる区民の理解促進を図る必要があります。また、利用団体や区民の利用も増えてきていることから、給水器の設置など熱中症対策を講じる必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	区民農園の一斉募集を行い、令和7年3月から新たな利用者による区民農園の利用が始まりました。利用方法の指導や農園パトロールを強化し、適切な利用を促しています。また、上井草二丁目団体利用農園では、引き続き保育園や小学校の収穫体験を実施し農業体験の場の確保に努めています。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂に食材提供し運営を支援しました。また、障害者施設等の12団体に対して農園の区画を貸し出すほか、野菜苗等を提供し、施設内においても農園でのノウハウを活用し育成してもらうことで、来園が困難な施設利用者に対して農にふれあう機会を創出しています。その他、さざんかステップアップ教室と連携し、農作業体験を通して小学生児童の学びの場を提供しています。
事業の方向性・改善策	区民農園の、適切な運営管理方法を検討するため、他自治体の先行事例等を調査していきます。農福連携農園については、引き続き、障害者施設や子ども食堂に食材提供等の運営を支援するとともに、障害者施設等へ農園の区画を貸し出し障害者などのいきがい創出や健康増進を図っていきます。その他、新たに障害者施設と連携し、杉並産野菜を活用した加工食品を製造するなど障害者の方の新たなやりがいを創出していきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	都市農地貸借等の農地制度を活用するなど、農にふれあう場としての農業体験の機会を充実できるように努めています。 農福連携農園では、団体農園区画利用者への新たなやりがい創出を目的とした区画利用団体による加工食品の製造、販売に向けて、障害者施設と連携協力をしながら検討・実施していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	区民農園については、適切な運営管理方法の見直しを行っていくとともに、農福連携農園に関しては、事業者や障害者施設等と連携を図りつつ、事業実施方法の改善を図っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	勤労福祉社会館維持管理					款 03	項 05	目 03	事業 001	整理番号	098
現担当課名	産業振興センター					係名	管理係	連絡先	4112	昨年度	103
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					電話番号	予算事業区分	既定事業	整理番号	
事業開始	昭和59年度		分野	02	施策	08	計画事業				
令和6年度 担当課名	産業振興センター					事業評価区分	施設維持管理				

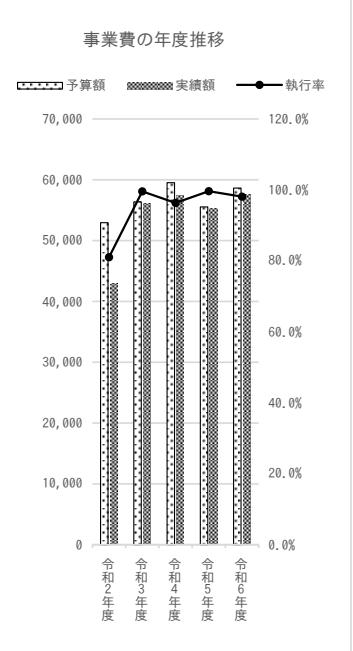
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
勤労者、区民等	杉並区立勤労福祉社会館条例 杉並区立勤労福祉社会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○中小企業に働く勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る。	○勤労福祉社会館を適切に維持管理する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	52,946	56,363	59,521	55,536	58,638	60,882
		実績額	42,905	56,131	57,342	55,336	57,524	-
		執行率	81.0%	99.6%	96.3%	99.6%	98.1%	-
人件費	千円	予算額	1,744	4,252	3,337	2,660	3,586	3,577
		実績額	1,701	4,172	4,076	3,587	3,577	-
		執行率	97.5%	98.1%	122.1%	134.8%	99.7%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	54,690	60,615	62,858	58,196	62,224	64,459
		実績額	44,606	60,303	61,418	58,923	61,101	-
		執行率	81.6%	99.5%	97.7%	101.2%	98.2%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	23	20	20	0	0	71
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	23	20	20	0	0	71
		実績額	23	20	71	0	0	-
		執行率	100.0%	100.0%	355.0%	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	54,667	60,595	62,838	58,196	62,224	64,388
		実績額	44,583	60,283	61,347	58,923	61,101	-
		執行率	81.6%	99.5%	97.6%	101.2%	98.2%	-



特記事項

特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	勤労福祉会館指定管理料	1	所	57,524
	その他 ()			0

取組成果	利用実績は令和5年度の13,591回から約4%増加して令和6年度は14,090回となりました。指定管理者による勤労者向け事業として、10月は「西荻足の人間ドック」、11月は「西荻ハンドメイド教室」、1月には「ご近所クラブシック」を実施し、3事業合計で約152名の参加があり、参加者の満足度の平均は96%となりました。参加者の年齢層を見ると60歳以上の割合が約65%となっており、現役世代の参加割合が少ない状況でした。また、自主事業の実施や地域の行事等に積極的に参加するなど、指定管理者による施設利用促進に向けた取組を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	勤労者の文化、教養及び福祉の向上を目的とした勤労者を対象とする事業「西荻 ビールの小話講座」では同時に子ども向けのイベントを実施することで、親がゆっくりと講座を受講することができたため大変好評でした。また、指定管理者の自主事業として、区交流自治体である名寄市アスバラの販売や子ども食堂運営者と連携した料理教室など新たな事業に取り組んでいます。引き続き、指定管理者の創意工夫を生かした事業を企画していきます。 令和2年度に導入した指定管理者制度の契約期間が令和8年3月末で満了するため、現在、プロポーザルを実施しています。
事業の方向性・改善策	指定管理者制度を通じて、民間のノウハウを生かした効率的な運営とサービスの向上を図っていきます。また、令和6年度の財政援助団体等監査による注意事項を踏まえ、引き続き区と指定管理者の間で月1回の連絡調整会議の場で月次報告書の内容確認を行うとともに、年2回の履行評価会議において総勘定元帳等により指定管理者が記入したチェックシートを点検をするなど適切に対応していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	令和7年度末の指定管理期間終了に伴い、次期指定管理者を公募型プロポーザル方式により選定を実施しています。引き続き、自主事業の実施による積極的な収益の確保を推進し効率的な施設運営を行っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る施設として、関係各課及び指定管理者と連携し、適切な維持管理を行っていきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	就労支援						款 03	項 05	目 04	事業 001	整理番号	099
現担当課名	産業振興センター						係名	就労・経営支援係			連絡先	5347-9077
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興						電話番号	昨年度 整理番号		104	
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	02	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和6年度 担当課名	産業振興センター						事業評価区分	既定事業				

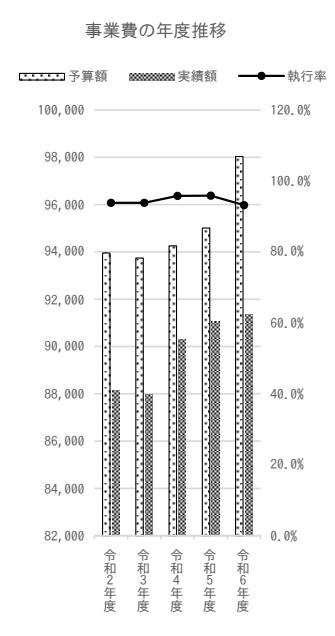
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
若者を中心とした求職者及び区内事業者	杉並区就労支援センター運営要綱 杉並区と東京労働局及び新宿公共職業安定所が雇用、産業施策等を一体的に実施するための協定
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○求職者の個々の状況に応じて就労準備相談等の支援を実施し、より多くの求職者が就職に結び付くようにする。 ○区内事業所の雇用支援を実施し、区内事業所と求職者とのマッチングを図る。	○求職者に対して就労準備相談、就労支援セミナー、職業相談、職業紹介、定着相談支援を実施する。 ○相談の利用だけでは就職に至らない若者等に対して社会適応力訓練、就労準備訓練を実施する。 ○ハローワークと連携し、就職面接会を実施する。 ○区内事業所の特徴や魅力を含む求人情報を求職者に情報提供する。 ○インターネット・応募書類作成パソコンコーナー、就職情報コーナーを運営する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労準備相談・心としごとの相談件数		件	計画	2,150	2,150	2,150	2,150
				実績	1,294	1,714	1,575	-
				達成率	60.2%	79.7%	73.3%	-
成果指標	職業相談件数		件	計画	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績	6,014	6,203	7,350	-
				達成率	120.3%	124.1%	147.0%	-
分類	就労準備相談者の就職決定件数		件	計画	160	160	160	160
				実績	180	176	190	-
				達成率	112.5%	110.0%	118.8%	-
分類	社会成果（課題）指標		件	計画	690	690	690	690
	ハローワークでの就職決定件数			実績	315	369	389	-
				達成率	45.7%	53.5%	56.4%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	93,953	93,740	94,254	95,009	98,032	96,526
		実績額	88,149	87,955	90,275	91,062	91,337	-
		執行率	93.8%	93.8%	95.8%	95.8%	93.2%	-
人件費	千円	予算額	13,077	12,755	12,515	12,477	12,557	12,834
		実績額	12,755	12,515	14,557	12,557	12,834	-
		執行率	97.5%	98.1%	116.3%	100.6%	102.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	3,080	3,628	3,675	1,839	1,904	4,643
		実績額	3,628	3,675	1,839	1,904	2,322	-
		執行率	117.8%	101.3%	50.0%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	110,110	110,123	110,444	109,325	112,493	114,003
		実績額	104,532	104,145	106,671	105,523	106,493	-
		執行率	94.9%	94.6%	96.6%	96.5%	94.7%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	2,472	2,337	2,686	2,706	2,692	1,978
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	2,472	2,337	2,686	2,706	2,692	1,978
		実績額	1,408	1,369	2,127	2,278	2,718	-
		執行率	57.0%	58.6%	79.2%	84.2%	101.0%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	107,638	107,786	107,758	106,619	109,801	112,025
		実績額	103,124	102,776	104,544	103,245	103,775	-
		執行率	95.8%	95.4%	97.0%	96.8%	94.5%	-



特記事項

特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	若者就労支援コーナー (すぎJ O B) の運営業務委託			41,822
	就労準備訓練及び社会適応力訓練支援事業 (すぎトレ) 業務委託			27,317
	就職相談・面接会の実施	50	回	3,602
	就労支援センター維持管理			14,039
	その他 (ハローワークコーナー運営ほか)			4,557

取組成果	若者就労支援コーナー新規登録者数は853人（令和5年度772人）、就労準備相談・心としごとの相談件数は延べ1,575件（同1,714件）、就職決定件数は190件（同176件）、ジョブトレーニングコーナー利用登録者数は73人（同47人）、ハローワークコーナー就職決定件数は389件（同369件）となりました。就労支援センターにおいて、区内事業者に就職相談・面接ブースの無償提供を行い、延べ22人の参加者のうち1人の就職が決まりました。また、就職相談・面接会を50回実施し、延べ136事業所、644人が参加し、123人の就職につながりました。さらに、すぎJOB及びすぎトレの専用ホームページを作成し、就労支援事業の案内やイベント情報の周知の強化に取り組みました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	若者就労支援コーナーでは、新規登録者数・就職決定数は令和5年度実績を上回りましたが、就労準備相談・心としごとの相談件数は令和5年度実績を下回りました。就職決定数に対する相談件数の減少は、少ない相談回数で就職できている傾向を表していますが、支援を必要とされる方の相談件数を上げるためにも、引き続き、広報やホームページ・S N S等の活用による区民への認知度の向上に取り組む必要があります。ジョブトレーニングコーナーは、利用登録者が令和5年度に比べて約1.5倍に増加しました。コロナ禍で利用者が減少した後、令和4年度までは横ばいで推移していましたが、令和5年度から増加傾向にあります。今後も、訓練内容の充実を図り、その内容の周知に努め、より多くの方に利用されるよう取り組んでいきます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	若者就労支援コーナーでは、ハローワークや福祉関係機関と連携し、就職前から就職後の定着まで、伴走型の支援を実施し、令和6年度は令和5年度を上回る190件の就職決定に結び付きました（前年度比24件増）。令和7年度上半期は新規登録者数は令和6年度上半期に若干及ばないものの、就職決定者数は令和6年度を上回っています。近年、シニア層の新規登録者数が増加していることから、新たに、シニア層を対象とした就職相談・面接会を7月に開催したところ、同イベントの開催以来最も多い参加者数（44人）となりました。今後も利用者層を意識したサービスを充実させ、就労に繋げていきます。
事業の方向性・改善策	若者就労支援コーナー及びジョブトレーニングコーナーの利用者が昨年度に引き続き増加傾向となっています。特に若者就労支援コーナーでシニア層以上の新規登録者が増えていることから、利用者層を意識した就職相談会などのイベントを充実させていきます。また、人材が不足している業種が参加できる就職相談会の開催や、区内に事業所が多いアニメ事業者の参加できる就職相談会なども開催していきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	人材不足が深刻化している建設・物流・福祉職・アニメ業界等の事業者への就労支援を充実するため、職種に特化した就職相談会を実施とともに、区の求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」を求職者が使いやすいように機能改善を進めていきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	区が就職相談会の実施や区の求人サイトを拡充することで、求職者に対する就労支援の充実を図るとともに、事業者に対しても人材確保の支援につなげていきます。